

## 平成28年熊本地震 災害廃棄物処理等の進捗状況について

平成28年熊本地震により熊本県内において発生した災害廃棄物の処理及び損壊家屋等の公費解体の状況について、以下のとおりお知らせします。

- ・ 災害廃棄物の処理量（8月末時点）：483千t
- ・ 損壊家屋等の公費解体済棟数（9月末時点）：4,160棟

### （1）災害廃棄物の処理状況

平成28年8月末時点

廃棄物発生推計量 (A)	処理量 (B=C+D)	再生利用率 (C÷B)		処理進捗率 (B÷A)	
		再生利用 (C)	処分 (D)		
1,950千t	483千t	244千t	239千t	50.5%	24.8%

- 再生利用率については、8月末までは生活系ごみの焼却・埋立処理が中心となっていたため50.5%となっているが、現在は公費解体による廃棄物の分別を徹底し可能な限り再生利用できるよう処理に努めており、今後は県が目標とする70%以上の達成に向けて取り組んでいく。

### （2）損壊家屋等の公費解体の状況

平成28年9月末時点

解体想定棟数 (A)	解体済棟数 (B)	解体進捗率 (C=B÷A)
28,434棟	4,160棟	14.6%

※熊本市については、棟数ではなく申請件数を計上。

（例：申請1件で、母屋1棟、納屋1棟、計2棟の場合でも1で計上）

- 全体としては市町村の計画どおりに進んでおり、計画どおりに進めば、発災後2年以内で処理できる見込み。